

洋上施工のリスクを軽減するための 気象海象予報精度の向上について

2024.6.25



日本気象株式会社について

Earth Communication Provider

気象と生活を結ぶ。災害から人々を守る。そこに、日本気象がいます。



気象予測、環境大気調査、ITを活用した情報配信など多様な業務を行っています。
気象に関する様々な技術を持って全国、全世界で幅広く活動を行っています。

日本気象株式会社 | Japan Meteorological Corporation

拠点

本社

大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪 タワーA 29F

東京オフィス

東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー34F

JMCデンマークApS

Building 108, DTU Link, Frederiksberg 399, 4000
Roskilde, Denmark
(デンマーク工科大学リソキャンパス (DTU Riso) 内)

代表者

鈴木正徳

設立

1985年1月21日

取得認証

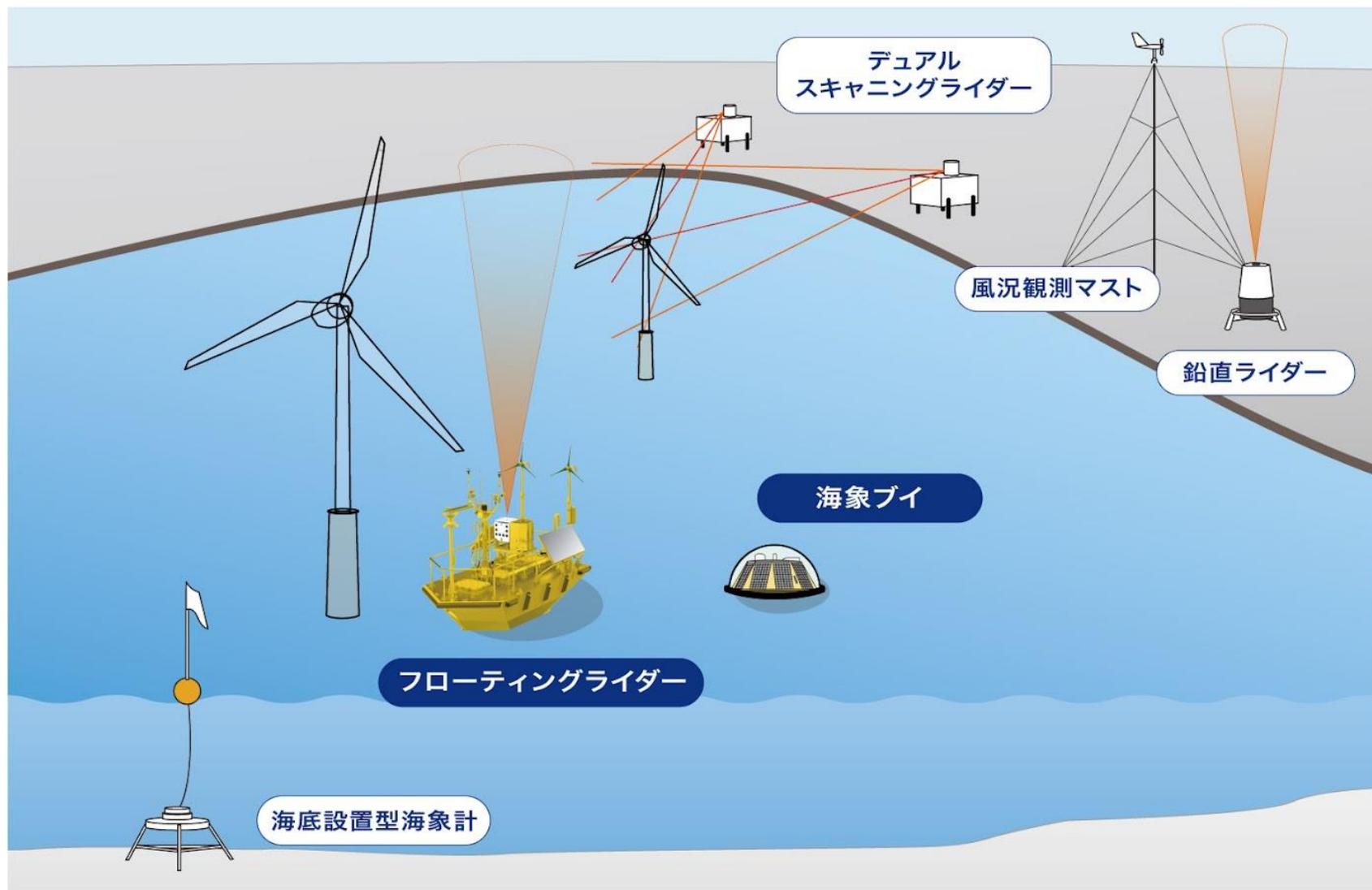
情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)
認証取得 (本社・東京オフィス)

気象庁予報業務許可



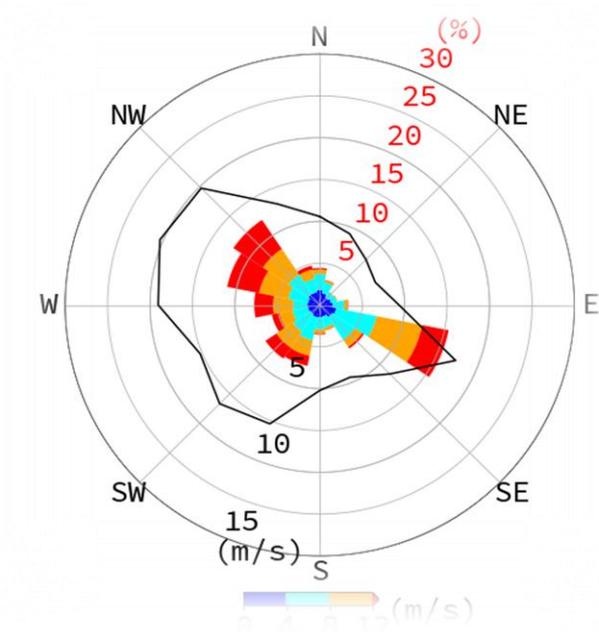
IS652977 / ISO27001

① 気象海象観測における当社の事業領域



2 気象海象条件算定

- 第三者認証取得サポート
 - 風条件
 - 波条件
 - 潮位条件
 - 水流条件
 - 風況シミュレーションによる海上風推定
 - その他外部環境条件



③ 気象海象予測の必要性

洋上ウインドファームの建設など自然災害に対してシビアなリスク管理が求められます。洋上施工においては高精度、高品質な気象海象予測が必要です。

Marine Warranty Surveyの施工基準に適合する気象海象予測

日本国内に設置される洋上風力発電設備の施工においては、**Marine Warranty Survey (MWS)**の施工に関する基準を満たし、洋上施工中のリスクを管理・低減する必要があります。MWSが求めるNKガイドラインの自然災害リスク（不適切な気象海象条件下での作業）を管理・低減するために必要な**施工海域における風速、波高、視程**を含む高精度・高頻度な気象海象予測が求められます。

洋上ウインドファームの建設～運用まで長く役立つ様々な予測

サイト上に建設する**個々の風車位置のピンポイント気象海象予測**も必要です。具体的には風車の建設、メンテナンスに重要な**海面から高さ50～150mといった上空の風速予測**も含まれます。ウインドファームの建設だけでなく、その後の運用まで長く活用頂くことが必要です。

ステークホルダー間で気象海象情報を共有することの有効性

ウインドファームの建設・運用に関わる電力事業者、建設会社、海事会社など多くのステークホルダーと気象海象予測をシェアできることが有効です。気象海象情報の入手経路が関係者内で異なると当日の作業実施判断に差異が出る恐れもありますが、全ての関係者が当日の気象海象予報を共有するで、より安全な施工、メンテナンス環境を構築することができます。

④ 気象海象予測システム MetOcean Navi

登録済みサイト

銚子沖

▶ 能代沖

サイト情報

サイト名 能代沖

管理事業者 電力事業者 (試験用)

予報地点数 2 / 10

使用開始 2021-06-21 00:00

使用終了 無期限

予報地点

地点名: 沿岸

予報高度: [設定] [リンク] [削除]

地点名: 沖合

予報高度: [設定] [リンク] [削除]

予報地点を設定

実況・ナウキャスト

高解像度降水ナウキャスト

2021/8/6 13:10

⑤ 気象海象予測の精度向上に向けて



[JMC]電力事業者 (試験用) 日本気象 (試験用アカウント) サイト利用方法

